

# あかるく かしこく たくましく

令和7年3月12日 No. 47 文責：校長 佐野紳二

## 進級おめでとう④ 2021年度入学・4年生のみなさんへ

われは草なり	高見 順
われは草なり	われは草なり
伸びんとす	緑なり
伸びられるとき	緑の深きを
伸びんとす	願ふなり
伸びられぬ日は	
伸びぬなり	ああ 生きる日の
伸びられる日は	美しき
伸びるなり	ああ 生きる日の
	楽しさよ
われは草なり	われは草なり
緑なり	生きんとす
全身すべて	草のいのちを
緑なり	生きんとす
毎年かはらず	
緑なり	
緑のおのれに	
あきぬなり	

4年生のみなさんとは3年生、4年生と2年間のお付き合いをさせてもらいました。どの学年の子どもたちも、私が校長として小笠原小学校に勤務させていただいた2年間で、それぞれに立派に成長した姿を見せてくれているわけですが、4年生の子どもたちも、この2年間の中で「すごく成長したなあ」と感じています。3、4年生という中学年の時期は、子どもたちが心も体も大きく成長する時期なのだと思いますが、それだけでは語る事ができない大きな成長が見られた2年間でした。それはきっと、4年生の子どもたちが仲間や担任の先生方と力を合わせ、様々な活動に前向きに取り組んできた成果なのだろうと思います。

3年生の時には社会科の校外学習で公共施設やはくばく、消防署など、いろいろなところに出かけて行って学んだこと、4年生になってからは総合的な学習の時間に1年間かけて福祉について学んだことが印象に残っています。2学期の後半には、児童会役員選挙に立候補した仲間をクラスごとに応援する姿に、頼もしさを感じました。きっと5年

生になってからも、6年生を支え、みんなで力を合わせて活躍してくれることと思います。

でも、4年生が頑張っている姿で私が最も心に残っているのは、運動会で見せてくれた「ソーラン節」でカッコよく踊る姿です。3年生の時のソーラン節も、みなさんの一生懸命さが伝わってくる素晴らしい踊りでしたが、4年生のソーラン節には逞しさが感じられ、「あっ、この子たちって1年間でこんなに成長するんだ」と改めて思ったことを、つい昨日のこのように覚えています。

そんな4年生のみなさんにプレゼントするのは、高見順さんの「われは草なり」です。この詩は、以前は5年生の国語の教科書に載っていた詩で、私の大好きな詩のひとつでもあります。「緑のおのれに／あきぬなり」「緑の深きを／願ふなり」というフレーズが特に私のお気に入りです。この詩の「草」のように、4年生のみなさんにも、自分を大切に、自分の命をしっかり生きてほしいと思います。

4年生のみなさん、進級おめでとうございます！



## 進級おめでとう⑤ 2020年度入学・5年生のみなさんへ

### THE POWER OF THE DREAM

歌) セリーヌ・ディオンの

誰でも心の奥に  
夢の炎に火をつける  
魔法の火花を持っている  
この世に人間が誕生してから  
「きっとできる」という思いが  
世界中の人々を結びつけてきた  
意味のない日々を送る人はいない  
一人一人が特別な役割を果たしているのだから

燃え続ける日は私たちに教えてくれる  
夢の持つ力へと私たちを導いてくれる  
ほかのものにはない力を世界は与えてくれる  
夢の持つ力で私たちは今ここにいる

意志があれば頑張れる  
あとはすべて心次第  
運命は自らが創り上げるもの  
この世に生まれてくる子どもたちは誰も  
夢と希望を運んできてくれる

燃え続ける日は私たちに教えてくれる  
夢の持つ力へと私たちを導いてくれる  
希望と平和が世界を結ぶ  
そうあり続けることを祈ろう  
夢の持つ力で私たちは今ここにいる

私が歌うこの言葉は  
すべての人に力を与える  
できないと思ったときにこそ  
できることに気づくはず

夢の持つ力で  
見えないものを信じられるようになれば  
恐れを包み込む勇気を持って  
どこにいようと自分の星をつかもう

夢の持つ力に気づいて  
夢が与えてくれる力に気づいて

先日の6年生を送る会でも、素晴らしい会を創り上げてくれた5年生。「6年生になる準備が着々と進んでいるな!」と、最近の5年生を見ていて感じます。そんな5年生と私が初めて出会ったのは、新型コロナウイルスの感染が拡大しはじめた2020年の5月でした。入学式が臨時休校の影響で何度も延期になり、やっとみなさんに会えたのが5月の後半だったことを覚えています。1年生の頃は3クラスで、前島先生や名取先生、是枝先生と一緒に元気に勉強していたみなさんが、昨年4年生で再会した時には、とても大きく、大人っぽく成長していたことにとっても驚きました。(1年生の頃の可愛らしさが感じられる子もいましたが)

1年生で出会った頃から、5年生の印象は「真面目に、一生懸命ものごとに取り組む子たちだなあ」という感じでした。それは5年生になり、間もなく6年生になろうとしている今でもあまり変わっていません。昨年の運動会のソーラン節や今年の運動会のフラッグ&ダンス、児童会役員選挙の取り組み、そして先日の6年生を送る会と、どんな活動にも一生懸命取り組んできた5年生なので、きっと6年生が卒業したあとも、小笠原小学校のリーダーとして、もっともっと笑顔いっぱい、よりよい学校づくりを進めていってくれるだろうと、期待をしています。

そんな5年生のみなさんに私からプレゼントするのは、今から30年ほど前の1996年に、アメリカのロサンゼルスで開催された夏季オリンピックの開会式で、セリーヌ・ディオンのさんが歌った「パワー オブ ザ ドリーム」というメッセージソングです。私にとっては「オリンピックの曲」というよりも「初めて作った組立体操でメインに使った曲」として思い出深い曲です。

これから大人への階段を一步ずつ登っていく5年生のみなさん、夢と希望と「やるんだ・できるんだ」という意志を持ち続け、自分の未来を切り拓いてください。そんな5年生のみなさんに、セリーヌ・ディオンの素晴らしい歌声とともにこの詞(歌)をプレゼントします。

5年生のみなさん、進級おめでとうございます!  
この曲も YouTube で聴くことができます。是非、左の詞を見ながら一度聴いてみてください。